



小建監第134号
平成23年7月14日

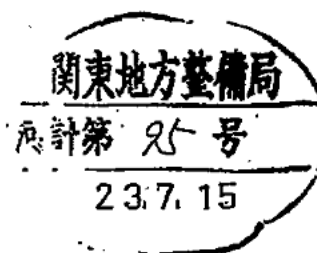
国土交通省 関東地方整備局長 様

小山市長 大久保 寿夫



八ッ場ダム建設事業の検証に係る検討における
「概略検討による利水対策案について(案)」に対する意見聴取について(回答)

国関整河計第35号にてご依頼のありました、標記の意見聴取について、別紙
のとおり回答いたします。



八ッ場ダム「概略検討による利水対策案について(案)」に対する御意見

①団体名	小山市	
②担当者名	[REDACTED]	
③連絡先(TEL)	0285-22-9354、0285-22-9327	
④御意見 (1) 利水対策案について (御意見を記入する際は、御意見の対象の対策案番号①～⑥を付記下さるようお願いいたします。	対策案番号	御意見
	④	<p>利水対策案における河道外貯留施設の渡良瀬遊水地第2調節池は、平成22年3月に国土交通省 関東地方整備局利根川上流河川事務所が策定した「渡良瀬遊水地湿地保全・再生基本計画」によると、良好な環境の保全と治水機能の向上に配慮しながら、第2調節池において掘削による湿地の保全・再生を進めるとなっており、現在、段階的に掘削を実施し、モニタリング調査が進められております。</p> <p>小山市も、渡良瀬遊水地における「第2調節池の掘削による治水機能の確保」を最優先とし、「ラムサール条約湿地への登録」、「コウノトリ・トキの野生復帰」を推進し、渡良瀬遊水地及び周辺地域の活性化と振興を図っていきたいと考えております。</p> <p>また、平成22年9月30日には渡良瀬遊水地が、環境省よりラムサール条約湿地登録の172箇所の潜在候補地の一つとして選定されました。さらに、渡良瀬遊水地につきましては、環境省と国土交通省の協議において、河川法と鳥獣保護法の国指定鳥獣保護区により登録の要件とすることが決定しました。</p> <p>このような状況の中で、小山市は、渡良瀬遊水地を平成24年6月に開催されるラムサール条約COP11において、ラムサール条約湿地に登録するため、平成22年9月28日市議会で議決がされたほか、関係機関や関係自治体との調整を図るとともに、地元の賛意が得られるよう啓蒙啓発活動を強力に推進しております。</p> <p>一方、「コウノトリ・トキの野生復帰」の推進にあたり、多様な生物が生育できる環境づくりのため、平成21年度から「南関東エコロジカル・ネットワーク形成に関する検討調査」と連携した渡良瀬遊水地エリアにおける取組も進めております。</p> <p>従いまして、渡良瀬遊水地第2調節池を河道外貯留施設とする利水対策案は容認できません。</p>